

平成29年度

事業報告書

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】	3
【施設の概要】	3
【事業の概要】	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・企画展	3
(2) 日本庭園	5
(3) ミュージアムショップ	5
(4) 喫茶店.....	6
2. 美術品の収集、保管及び修復.....	6
(1) 美術品の購入.....	6
(2) 美術品の保管・修復.....	6
(3) 美術品の寄贈受入.....	7
(4) 美術品の寄託受入.....	7
3. 調査研究.....	7
(1) 調査・研究.....	7
(2) データベース	8
(3) 研究資料の整備	8
(4) 学術プロジェクトへの参加	8
(5) 美術品の閲覧.....	9
4. 教育普及.....	10
(1) 催事.....	10
(2) その他の館内催事.....	12
(3) 館外催事	12
(4) インターネットによる広報	13
(5) プレスリリース	13
(6) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット	13
(7) 内覧会・レセプション	13
(8) 施設案内パンフレット	14
(9) 他美術館との協力.....	14
(10) 地域との連携	14
(11) 有料広告.....	15
(12) 根津倶楽部.....	15
(13) NEZUNET	15
(14) 青山茶会.....	15
(15) 美術品の館外貸出.....	16
(16) 画像の貸出.....	18

(17) 施設の貸与.....	18
II 収益事業	20
【事業の概要】	20
1. 不動産事業.....	20
III 庶務の概要	21
1. 役員.....	21
2. 職員.....	23
3. 役員会	24
(1) 理事会.....	24
(2) 評議員会	26
IV 事業報告の附属明細書	27

I 公益事業

【事業の趣旨】

昭和 15 年(1940) 11 月、初代根津嘉一郎(1860~1940)の遺志により財団法人を設立、翌年 10 月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

今年度もその理念に基づき、特別展 2 回と所蔵美術品による企画展 5 回を開催し、展覧会に関連した講演会、会員向けプログラム、施設を利用した催事などを実施した。

所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を館内外での発表や紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、修復などによる美術品の維持・管理に努めた。

【施設の概要】

平成 21 年 10 月に新創開館した本館は地上 2 階(展示室 1~6 など)、地下 1 階(講堂など)。平成 2 年に建設した展示施設を同 19 年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上 2 階、地下 1 階からなる。平成 21 年度地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館 2 階屋根上の 252 枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用に努めている。

日本庭園には、薬師堂および茶室 4 棟があり、各所に石造物約 150 件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

【事業の概要】

1. 展示活動

(1) 特別展・企画展

美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始を除く毎日開館した。特別展「燕子花図と夏秋溪流図」会期中の 5 月 9 日(火)より 5 月 14 日(日)までの開催日 6 日間は、午後 7 時まで開館時間を延長した。

入館料は、特別展の場合一般 1,300 円、学生 1,000 円、企画展では一般 1,100 円、学生 800 円とし、いずれも中学生以下は無料とした。20 名以上の団体、障害者手帳提示者と同伴 1 名及び運転経歴証明書提示者へは 1 名につき 200 円の割引を行い、また 200 円割引料金の次回展の前売券を美術館内で販売した。

平成 29 年度は、開館日数計 246 日間に、来館者 229,442 名(うち有料来館 210,042 名)を迎えた。

1 階展示室 1(場合により展示室 2、5 を含む)では、下記の 7 回の特別展及び企画展を開催し、同時に、展示室 2 あるいは 5 では、特別展・企画展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室 6 では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

また、ホール~展示室 3「仏教美術の魅力」では、展示室 3 に金銅仏(一部展示替え)を展示した。

展示室 4「古代中国の青銅器」は平成 25 年度より、展示作品の一部にテーマ性のある展示を行っており、今年度は「葡萄文の鏡」を展示した。

特別展は当館の所蔵美術品のみならず館外から借用する美術品も含めて構成し、企画展は所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録、関連する所蔵品図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理

解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。また、外部業者に委託して、館内巡回の徹底と、来館者対応を補完し、快適な鑑賞環境の向上に努めた。

- ・特別展「燕子花図と夏秋溪流図」 展示室 1・2
平成 29 年 4 月 12 日（水）～5 月 14 日（日） 展示日数 30 日間
同時開催「行楽を楽しむ器 ー提重と重箱ー」 展示室 5
「新緑のころー初夏の茶の湯ー」 展示室 6
入館者 55,497 名（有料 51,383 名）
- ・企画展「はじめての古美術鑑賞 ー紙の装飾ー」 展示室 1・2
平成 29 年 5 月 25 日（木）～7 月 2 日（日） 展示日数 34 日間
同時開催「焼き締め陶」 展示室 5
「涼一味の茶」 展示室 6
入館者 27,155 名（有料 24,889 名）
- ・企画展「やきもの勉強会 ー大皿と小皿ー」 展示室 1・2
平成 29 年 7 月 13 日（木）～9 月 3 日（日） 展示日数 46 日間
同時開催「舞の本絵巻」 展示室 5
「盛夏の茶事」 展示室 6
入館者 33,868 名（有料 30,799 名）
- ・企画展「ほとけを支える ー蓮華・靈獣・天部・邪鬼ー」 展示室 1・2
平成 29 年 9 月 14 日（木）～10 月 22 日（日） 展示日数 34 日間
同時開催「水瓶」 展示室 5
「菊月の茶会」 展示室 6
入館者 27,945 名（有料 25,867 名）
- ・特別展「鑿の華 ー光村コレクションの刀装具ー」 展示室 1・2
大阪歴史博物館・公益財団法人佐野美術館と共同企画
平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）～12 月 17 日（日） 展示日数 39 日間
同時開催「国宝 根本百一羯磨」 展示室 5
「歳暮の茶」 展示室 6
入館者 33,147 名（有料 30,703 名）
- ・企画展「墨と金 ー狩野派の絵画ー」 展示室 1・2
平成 30 年 1 月 10 日（水）～2 月 12 日（月・振替休） 展示日数 30 日間
同時開催「百椿図」 展示室 5
「戊戌の春 ー新年の茶会ー」 展示室 6
入館者 25,525 名（有料 22,701 名）
- ・企画展「香合百花繚乱」 展示室 1
平成 30 年 2 月 22 日（木）～3 月 31 日（土） 展示日数 33 日間
同時開催「釜 ー茶席の主の姿ー」 展示室 2
「歌詠みの書 ー懐紙と短冊ー」 展示室 5
「花月の茶」 展示室 6
入館者 26,305 名（有料 23,700 名）

なお、近年外国人入館者の割合が増えている。過去五年間の年間平均の推移は以下の通り。

平成 25 年度 9.0%

平成 26 年度	12.3%
平成 27 年度	10.9%
平成 28 年度	15.9%
平成 29 年度	23.7%

なお、展覧会開催中、例年のとおり国内外の要人を多数お迎えした。

(2) 日本庭園

17,000 平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ 4 棟の茶室や点在する約 150 件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。当年度は、樹木の剪定・枯枝の除去、散策路の整備等を意欲的に行い、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。

平成 25 年 10 月より、毎月木曜日に 1 棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を開催している。

[平成 29 年]

6 月 16 日 (木)	一樹庵・披錦齋	42 名
7 月 28 日 (木)	斑鳩庵・清溪亭	83 名
8 月 11 日 (木)	弘仁亭・無事庵	118 名
9 月 15 日 (木)	閑中庵・牛部屋	48 名
10 月 13 日 (木)	一樹庵・披錦齋	135 名
11 月 24 日 (木)	弘仁亭・無事庵	48 名
12 月 8 日 (木)	斑鳩庵・清溪亭	95 名

[平成 30 年]

1 月 19 日 (木)	閑中庵・牛部屋	74 名
2 月 9 日 (木)	一樹庵・披錦齋	58 名
3 月 16 日 (木)	斑鳩庵・清溪亭	84 名
	計 10 回	785 名

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟 4 年目。春と秋に発行される「東京いい庭キャンペーン」の冊子（日本語、英語）の掲載・配布協力のほか、定期会合を通じた意見交換などの活動に参加。昨年に続き、紅葉の時期には茶室周辺の茶庭の開放と Twitter フォトギャラリーを実施。昨年を上回る投稿があり、楽しみ方として定着した感が強い。

(3) ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に適う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

当年度、新たに製作したオリジナル商品は 10 品目 40 種、委託商品は 6 社 75 種。その中で、国宝

「燕子花図屏風」(尾形光琳筆)と「夏秋溪流図屏風」(鈴木其一筆)をモチーフにミニ屏風を製品化した。

また新たに更紗の2柄をモチーフに風呂敷やポーチ、トートバッグを製品化した。

引き続き山梨市の根津記念館「ミュージアムショップ平等」に商品および出版物の販売を、また東京国立博物館に加え、京都国立博物館・九州国立博物館のミュージアムショップに出版物の販売を委託し、さらに所蔵美術品の貸出先のミュージアムショップには、展覧会の会期中絵葉書などのオリジナル商品の販売を委託した。

(4) 喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFÉ は、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行った。本年度も展覧会のテーマにちなんだ期間限定商品の開発を行い、話題性のある商品で販売促進に努めた。引き続き抹茶と展覧会テーマ、または季節にちなんだ和菓子のセットを提供した。特別展「燕子花図と夏秋溪流図」展期間中はカフェが混みあうため抹茶セットの提供は難しいと判断し、庭園内茶室で抹茶サービスを行った。30日間で4,788名(1日平均160名)が利用した。同じく、特別展「燕子花図と夏秋溪流図」展の夜間開館期間中に、午後5時からシャンパンを販売し、美術品の鑑賞と共に地の利を活かしたアフターファイブの新しい楽しみ方を提案した。食品や店内環境の衛生に万全を期すとともに、来館者の憩いや団らんの場として落ち着いた雰囲気の中で庭園の自然を眺める空間を維持し、リピーターやファン層の獲得に努めた。

2. 美術品の収集、保管及び修復

(1) 美術品の購入

本年度、下記的美術品(美術資料)を購入した。

黄銅釜鎖	1本
霰地切合風炉釜	1具
桑柄火箸	1対
鉄自在	1本
安南染付獅子文皿	1枚
七宝文切合風炉釜	1具
版木(形物香合相撲)	1枚

(2) 美術品の保管・修復

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

(展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対するモニタリング調査を、年間2回(4月19日～5月16日、9月14日～10月13日)実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防黴作業を、年間2回(5月15日～5月18日、12月20日～12月23日)行った。
- ③ 修理完了作品および虫害の可能性のある作品の被覆燻蒸施工(5月15日～5月18日)を行った。
- ④ 展示ケース内の環境を確認するため、酸・アルカリの濃度計測(8月22日～24日)を行った。

(収蔵施設)

- ① 収蔵庫のカビや虫害に対するモニタリング調査を、年間2回(4月19日～5月16日、9月

14日～10月13日)実施し、収蔵環境の監視を継続した。

- ② モニタリング調査の結果をもとに、大規模清掃を年間2回(4月28日、11月14日～17日)実施した。
- ③ 収蔵庫内の環境を確認するため、酸・アルカリの濃度計測(8月22日～24日)を行った。

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

- ① 補助修理
重要文化財 紺紙銀字華嚴経卷第四十六〈(二月堂焼経)ノ〉1巻 半田九清堂
- ② 自費修理および手入
仏涅槃図(3ヶ年継続・3年目) 1幅 半田九清堂
佛本行集経 卷第三十四 1巻 半田九清堂
佛本行集経 卷第四十九 1巻 半田九清堂
瑜伽師地論 卷第二十四(応急修理) 1巻 半田九清堂
大乘同性経 卷上(応急修理) 1巻 半田九清堂
十誦律 卷第五十六(応急修理) 1巻 半田九清堂
鶉籠釜 1口 長野烈氏
鉄大やつれ風炉 1口 長野烈氏
燈籠形釜(応急修理) 1口 長野烈氏
真形霰釜(応急修理) 1口 長野烈氏
花菱文風炉の鐙(応急修理) 1対 長野烈氏
鷲図真形釜(応急修理) 1口 長野烈氏
茶地立涌雪持松模様縫箔 1領 共立女子大学

(3) 美術品の寄贈受入

本年度、下記的美術品の寄贈を受け入れた。

更紗手鑑 1帖 佐藤泰一郎氏

(4) 美術品の寄託受入

本年度、下記的美術品の寄託を受け入れた。

笙(宝永三年銘) 1管 個人蔵

3. 調査研究

(1) 調査・研究

引き続き、所蔵美術品および展覧会に関わる調査・研究を行い、新たな知見を館内での講演会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要、展覧会図録および所蔵品図録を出版した。

① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第9号 特集 円山応挙』

平成30年3月30日発行

800部

② 展覧会図録

『鑿の華—光村コレクションの刀装具—』 平成29年11月2日発行

2,800部

③ コレクション図録

『村上コレクション受贈記念 中国の古鏡』第2刷

	平成 29 年 7 月 28 日発行	1,500 部
『根津美術館所蔵 密教絵画 観賞の手引』第 2 刷		
	平成 29 年 10 月 13 日発行	1,000 部
『光村コレクション総目録－刀剣と刀装具－』		
	平成 29 年 12 月 10 日発行	2,000 部

(2) データベース

平成 21 年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。アルバイトを通年で 1 名、夏から 1 名追加して雇用し、下記の作業を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、やはり前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。
- ② 新規撮影したデジタル画像およびポジフィルムの高精細デジタル画像の登録を、引き続き行った。

(3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト 2 名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、雑誌・紀要報告書の曝書（蔵書点検）と、データの見直し及び修正を終了した。また、未入力であった書籍すべての入力を完了した。
- ② 本年度に刊行した図録および紀要を、国内 240、海外 108 機関に贈呈し、また美術館・博物館など 280 機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書など 773 冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、241 冊の図書・雑誌を購入した。

(4) 学術プロジェクトへの参加

- ・当館学芸員（松原茂、白原由起子）は、国際仏教学大学院大学（附置 日本古写経研究所）とともに企画した当館所蔵「春日若宮大般若経」の調査プロジェクト（平成 28 年 3 月開始）を引き続き実施した。前年度の調査報告（平成 29 年 3 月開催のシンポジウムおよび同大学刊行の『春日若宮大般若 調査報告・法量（稿）』）に基づき、本年度は経厨子を含めた総合的研究を行った。その成果として、平成 30 年 3 月、東京大学史料編纂所、名古屋大学、広島大学、当館学芸員の調査報告を収載した『根津美術館所蔵春日若宮大般若経および厨子 調査報告書』（国際仏教学大学院大学 日本古写経研究所編集・発行）が刊行され、文化庁および国内の研究機関に頒布された。
- ・館外の研究・教育機関および博物館・美術館が行う学術プロジェクトに、下記の通り当館学芸員が参加し、国内外の研究者や研究機関と成果を共有した。
 - 西田宏子 国立歴史民俗博物館 科学研究費による陶磁器調査
 - 多比羅菜美子 国立歴史民俗博物館展示プロジェクト「URUSHI ふしぎ物語一人と漆の 12000 年史」委員
- ・館外の研究・教育機関の依頼により、下記の通り当館学芸員が講演を行った。
 - 西田宏子 島根県埋蔵文化財研修講演「戦国時代の茶の湯」
 - 松原茂 春季特別展「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅱ－守り伝える美とおしえー」記念講演会 「本願寺本三十六人家集－院政期の装飾料紙と書－」

- 白原由起子 コロタイプ技術の保存と印刷文化を考える会 第27回研究会「青山荘清賞」
東亜大学校 石堂学院・地方文化研究所 学術セミナー
「根津美術館所蔵 高麗時代〈釈迦三尊十六羅漢像〉」
セインズベリー日本藝術研究所 海外における日本文化研究とその展望に関する国際シンポジウム 「欧米美術館への日本の支援事業—現状と課題—」
- ・文部科学省および各教育委員会の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の指定、保存、国家補償などに関わる会議に委員として参画した。
 - 西田宏子 佐賀県文化財保護審議会
 - 松原茂 文化庁文化審議会専門委員（文化財分科会）
文化庁登録美術品調査研究協力者会議
 - 野口剛 文化審議会文化財分科会企画調査会 これからの国宝・重要文化財（美術工芸品）等の保存と活用の在り方等に関するワーキンググループ
 - 白原由起子 文化庁文化審議会美術品補償制度部会・専門調査会
国際博物館会議京都大会（ICOM KYOTO 2019）運営委員会
日米文化教育交流会議（CULCON）美術対話委員会
 - ・独立行政法人および公私立の博物館・美術館の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の購入・修理、館の運営などに関わる会議に委員として参画した。
 - 松原茂 九州国立博物館買取評価会
東京国立博物館有形文化財買取協議会
千葉県美術館美術品等収集審査会
板橋区立美術館運営協議会
 - 野口剛 文化庁美術品買取協議会

（5）美術品の閲覧

所蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、且つ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下 37 件の研究に協力した。

閲覧日	所属	閲覧作品
[平成 29 年]		
4 月 19 日	茶道資料館（1 名）	羅漢図
5 月 3 日	東京文化財研究所（1 名）	楼閣人物文箱、他 2 件
6 月 1 日	岡山県立博物館（1 名）、他 1 名	染付手桶水指
6 月 1 日	大津市歴史博物館（1 名）	大津絵（矢ノ根五郎）、他 14 件
6 月 6 日	国際仏教学大学院大学（3 名）、他 1 名	華嚴略記指事 巻第五
6 月 8 日	鹿児島県歴史資料センター黎明館（1 名）、他 1 名	色絵牡丹孔雀文長方皿、他 4 件
6 月 9 日	パルミジャーニ・フルリエ・ディストリビューション・ジャパン株式会社（3 名）	宝飾時計 5 件
6 月 13 日	福建博物院（1 名）、他 4 名	交趾三彩荒磯香合、他 5 件
6 月 16 日	国立歴史民俗博物館（1 名）	重要文化財 色絵山寺図茶壺、他 6 件
7 月 8 日	白鶴美術館（1 名）、他 1 名	重要文化財 饗饗文甌、他 6 件
7 月 13 日	フランス国立東洋言語文化大学（1 名）、	大津絵貼交屏風

	他 1 名	
7 月 20 日	愛知県陶磁美術館 (1 名)	御深井写菊花透文深鉢
7 月 21 日	國學院大學 (1 名)、他 1 名	源平合戦図
7 月 27 日	龍谷大学 龍谷ミュージアム (2 名)	重要文化財 絵過去現在因果経、他 2 件
8 月 3 日	島根大学 (1 名)	変形半円方格四神四獣文鏡、他 4 件
8 月 4 日	東京大学 (3 名)	重要文化財 風雨山水図、他 3 件
8 月 31 日	金工家 (1 名)	天明一文字尾垂釜、他 6 件
9 月 5 日	興風談所 (1 名)	重要美術品 手鑑文彩帖
9 月 9 日	筑波大学 (2 名)	利休瀬戸茶入 銘 一夜、他 4 件
9 月 12 日	九州国立博物館 (1 名)	飲中八仙歌、他 2 件
9 月 13 日	学習院女子大学 (1 名)、他 2 名	狐草紙、他 1 件
9 月 15 日	都留文科大学 (1 名)、他 2 名	重要文化財 藤花図屏風
9 月 20 日	美術刀剣外装技術保存会 (21 名)	藍鯨研出し合口拵、他 7 件
9 月 21 日	金工家 (1 名)	燈籠釜、他 4 件
10 月 6 日	大阪市立東洋陶磁美術館 (2 名)	青磁輪花形鉢
11 月 10 日	九州国立博物館 (1 名)	饗養文卮
11 月 15 日	鹿児島県歴史資料センター黎明館 (1 名)	薩摩瓢箪茶入 銘 大鳥、他 4 件
11 月 22 日	東京国立博物館 (2 名)、他 2 名	堆黒春字長方合子、他 4 件
12 月 1～3 日	国際仏教学大学院大学 (5 名)	春日若宮大般若経
12 月 2 日	国際仏教学大学院大学 (1 名)、他 2 名	華嚴経孔目章、他 2 件
12 月 5 日	同志社大学 (1 名)	大津馬図
12 月 12 日	鹿児島県歴史資料センター黎明館 (1 名)	薩摩色絵盃、他 4 件
12 月 16 日	京都市立芸術大学 (2 名)	地藏曼荼羅、他 1 名
[平成 30 年]		
2 月 2 日	奈良国立博物館 (1 名)	春日若宮大般若経
2 月 22 日	大阪市立東洋陶磁美術館 (1 名)	重要美術品 曜変天目、他 4 件
2 月 22 日	大阪市立東洋陶磁美術館 (1 名)	重要文化財 青磁蓮唐草文水瓶、他 5 件
3 月 2 日	奈良国立博物館 (3 名)	刺繍地藏菩薩像
	計 37 件	観覧者 94 名
		作品総数 135 件

4. 教育普及

(1) 催事

引き続き、各展覧会に関連して、館内外の講師による講演会を講堂で開催した（参加費無料、定員 130 名）。また、担当学芸員が、講堂にてスライド・レクチャーを随時実施した。

[平成 29 年]

・特別展「燕子花図と夏秋溪流図」

講演会：5 月 13 日（土）

岡野智子氏（細見美術館 主席研究員）

「其一と光琳 一受け継がれる革新」

聴講 128 名

モーニング・レクチャー：4 月 18 日（火） 野口剛「燕子花図と夏秋溪流図」

聴講 109 名

4 月 28 日（金） 野口剛「燕子花図と夏秋溪流図」

聴講 157 名

イブニング・レクチャー：5 月 9 日（火） 野口剛「燕子花図と夏秋溪流図」

聴講 156 名

・企画展「はじめての古美術鑑賞一紙の装飾」

- 講演会：6月17日（土）
 北川一成氏（グラフィックデザイナー）
 「北川一成がみる紙の装飾」 聴講 133名
- スライド・レクチャー：6月9日（金）松原茂 「紙の装飾」 聴講 138名
 6月23日（金）松原茂 「紙の装飾」 聴講 161名
- ・企画展「やきもの勉強会—食を彩った大皿と小皿—」
 講演会：8月5日（土）
 神崎宣武氏（民族学者・旅の文化研究所所長）
 「江戸の料理屋とおもてなし」 聴講 121名
- スライド・レクチャー：7月21日（金）西田宏子「やきもの勉強会—食を彩った大皿と小皿—」 聴講 122名
 8月18日（金）西田宏子「やきもの勉強会—食を彩った大皿と小皿—」 聴講 166名
- ・企画展「ほとけを支える—蓮華・霊獣・天部・邪鬼—」
 講演会：9月30日（土）
 白原由起子
 「ほとけを支える動物たち」 聴講 98名
- スライド・レクチャー：9月15日（金）白原由起子「ほとけを支える」 聴講 87名
 10月7日（土）白原由起子「ほとけを支える」 聴講 102名
 10月20日（金）白原由起子「ほとけを支える」 聴講 109名
- ・特別展「鑿の華—光村コレクションの刀装具—」
 講演会：12月2日（土）
 内藤直子氏（大坂歴史博物館・学芸課・学芸第二係長）
 「光村利藻が残したもの—美術品としての刀装具“発見”—」 聴講 101名
- スライド・レクチャー：11月17日（土）内藤直子氏 「鑿の華」 聴講 87名
 11月24日（土）福島洋子「国宝 根本百一羯磨と光明皇后御願経」 聴講 34名
 12月10日（日）ポールマーティン氏（日本刀研究家・英語による）
 「鑿の華」 2回 聴講各10～20名
- [平成30年]
- ・企画展「墨と金—狩野派の絵画—」
 講演会：1月27日（土）
 山下善也氏（九州国立博物館 主任研究員）
 「狩野派を知る見る楽しむ」 聴講 94名
- スライド・レクチャー：1月12日（土）野口剛「墨と金—狩野派の絵画—」 聴講 138名
 1月19日（土）野口剛「百椿図」 聴講 83名
- ・企画展「香合百花繚乱」
 講演会：3月10日（日）
 神崎かず子氏（愛知県陶磁美術館 副館長）「形物香合番付」 聴講 105名
- ギャラリー・トーク：2月23日（金）長野烈氏（金工家）「釜」 聴講 20名
 3月23日（金）長野烈氏（金工家）「釜」 聴講 20名
- スライド・レクチャー：3月9日（金）下村奈穂子「香合百花繚乱」 聴講 81名
 3月16日（金）下村奈穂子「香合百花繚乱」 聴講 94名

加えて、本年度は、特別企画として以下の催事を実施した。

【無料】

- ・仕舞「山姥」：5月11日（木）17：30～ 於1階ホール
観世鍔之丞師（能楽師） 参加者約 250名
- ・七夕飾り：6月25日～7月2日 参加者約 200名
- ・落語を聴く会：12月15日（金）
立川談慶氏（落語家）
演目「金明竹」「浜野矩随」 参加者 89名
- ・茶室で楽しむ椿の花芸―「百椿図」に寄せて―：2月2日（金）～4日（日）於弘仁亭
安達瞳子氏（安達流二代主宰） 参加者 1,148名

【有料】

- ・料紙装飾体験「雲母と砂子」：6月24日（土）
講師：並木秀俊氏（東京藝術大学 特任研究員／日本画家・截金師）
定員 40名 参加費 3,000円（小学校5年生以上） 申込者 40名、参加者 39名
- ・茶杓をけずってみよう：8月19日（土）
講師：池田泰輔氏（竹楽会講師・竹芸家）
定員 40名 参加費 8,000円（18歳以上） 申込者 40名、参加者 39名
- ・『鈍翁をしのんで』―益田鈍翁没後80年記念茶会―：10月5日（木）於披錦齋
定員 100名（20名×5席） 参加費 5,000円 参加者 100名
- ・「現代茶人の茶席」：於披錦齋、弘仁亭（12/7のみ）
11月19日（日） 村瀬治兵衛氏（漆芸家）
11月25日（土） 堀畑裕之氏・関口真希子氏（服飾ブランド matohu デザイナー）
12月2日（土） 大角幸枝氏（金工作家、重要無形文化財保持者〈鍛金〉）
12月7日（木） 川瀬 忍（陶芸家）
各日定員 100名（20名×5席） 参加費 5,000円 申込者 400名、総参加者 394名
- ・「はじめての炭点前鑑賞」：3月15日（木）於披錦齋
定員 60名（10名×6席） 参加費 3,000円 申込者 60名、参加者 56名

（2）その他の館内催事

夏休みの時期にあたる「やきもの勉強会―大皿と小皿―」（7/13-9/3）の際に、初の試みとして小中学生を対象にした書き込み型の展示解説パンフレットを制作。クリップ付きペンシルとともに300部配布した。近隣小学校の父兄から、「展示を見る助けになった」、「夏休みの自由研究に活用した」、「子供がお皿に興味を持ったので、家でも陶磁器の食器を使うようになった」、などの声が聞かれた。

（3）館外催事

公益財団法人大師会の要請により、10月17日（火）、根津美術館 根津乾道席として、大師会 益田鈍翁没後八十年追善法要茶会にて懸釜をした（於護国寺月窓軒・月光殿）。道具とともに学芸部・管理部より職員を派遣した。

(4) インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設などの情報発信窓口である当館ウェブサイト (<http://www.nezu-muse.or.jp>) は目下、日本語版と英語版をそれぞれPC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間の閲覧回数は1,256,146アクセス(月平均104,679アクセス)、ユーザー数は843,740名(月平均70,312名)を数えるが、ユーザーのうち13%強が日本語以外の言語環境から、また約64パーセントがスマートフォンもしくはタブレット端末からアクセスしている。

ウェブサイトに次ぐ情報発信ツールとして定着した感のあるFacebookは、今期も常用ユーザー数を順調に伸ばし、期初の約25,000名から、約33,000名に増加した。Twitterでのフォロワー数も期初の約22,000名から大幅に増加し、約28,000名を超えた。

(5) プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用して、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるようあらため、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を定着させた。また同時に、ミュージアムショップやカフェの新商品などの告知リリースも配信し、多様なメディアに掲載されることを促し、それによる美術館・展覧会の認知度向上に引き続き努めた。さらに国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に努めた。

(6) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動を行い、さらに、外国人集客に力を入れている東京都や観光庁の旅行案内所、都内主要ホテルへのチラシの定期提供ルートも引き続き開拓した。

(7) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日(年度内7回)に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。この記者内覧会に加え、29年度は秋の特別展に際し、美術関係の招待客を対象に特別内覧会及びレセプションも実施し、業界関係者や教育者などを通じての宣伝や誘客を図った。

・特別展「燕子花図と夏秋溪流図」：4月11日(火)	記者内覧会	出席者	51名
・企画展「はじめての古美術鑑賞 一紙の装飾」：5月24日(水)	記者内覧会	出席者	51名
・企画展「やきもの勉強会 一食を彩った大皿と小皿」：7月12日(水)	記者内覧会	出席者	42名
・企画展「ほとけを支える 一蓮華・霊獣・天部・邪鬼」：9月13日(水)	記者内覧会	出席者	49名

- ・特別展「鑿の華－光村コレクションの刀装具－」：11月2日（木）

記者内覧会	出席者	34名
特別内覧会	出席者	361名
- ・企画展「墨と金－狩野派の絵画－」：1月9日（火）

記者内覧会	出席者	42名
-------	-----	-----
- ・企画展「香合百花繚乱」：2月21日（水）

記者内覧会	出席者	40名
-------	-----	-----

（8）施設案内パンフレット

日本語・英語・仏語・中国語・韓国語のパンフレットを館内に常備している。また外部の観光案内施設などから要望がある場合も送付サービスを行っている。

（9）他美術館との協力

- ・山種美術館からの依頼により、「はじめての古美術鑑賞－紙の装飾－」（5/25-7/2）の期間中の3週間ほどの間、当館入館券を持参した来館者に対し山種美術館が入館料割引を実施するキャンペーンの告知協力（告知看板掲出、チラシ設置）などを行った。
- ・特別展「鑿の華－光村コレクションの刀装具－」（11/3-12/17）の会期中、三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「技と美－秋の三館 美をめぐる 2017」キャンペーンを実施した。これは、他館がキャンペーン対象とする秋季の展覧会の入館券の半券を持参した来館者の入館料の100円割引、さらに3館の対象展覧会の入館済み半券を持参した来館者をいずれか1館の次回展に無料招待するもので、2013年度より実施している。展覧会が集中する秋季での各館への誘客強化とともに、当館次回展への認知と誘客を狙うもので、このキャンペーンによる割引を利用した入館者は567名（総入館者数の1%超）、次回展「墨と金－狩野派の絵画－」への招待入館者は260名であった。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

（10）地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年2回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載し、読者への招待券プレゼント企画に協力した。
- ・港区が三田図書館で開催する「港区ミュージアムセミナー」の一環として、1月に「墨と金－狩野派の絵画－」にちなんだ講演を、担当学芸員が行った。
- ・毎年10月に開催され、当館も参加している港区主催の「みなと区民まつり」では、記念バッジ購入者向け特典として区内施設が入館料割引を実施した。
- ・昨年度の港区Kissポート財団20周年企画として行った講演会が好評だったため毎年続けていきたいという希望を受け、10月に港区立青山生涯学習館で、根津美術館の紹介と企画展「ほとけを支える－蓮華・霊獣・天部・邪鬼－」の見どころについて担当学芸員が講演を行った。
- ・昨年に続き港区保健福祉支援部高齢者支援主催の65歳以上の高齢者向けイベント「ゆうゆうミュージアム巡り」で、今年度は6月に、24名の参加者を迎え、担当学芸員が企画展「はじめての古美術鑑賞－紙の装飾－」展の見どころを解説した。
- ・例年2月に行われる港区主催「ミナコレ冬」イベントでは、今年度は港区が美術館巡りのツアーバスを企画、実施に協力した。企画展「墨と金－狩野派の絵画－」に20名が来館し、担当学芸員が展覧会の見どころを解説した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築

に努めた。

- ・近隣の港区立青南小学校3年生の「総合」学習の一環として、近隣施設見学授業への協力要請があり、企画展6月企画展「はじめての古美術鑑賞―紙の装飾―」見学に児童20名、引率教員1名を受け入れた。
- ・港区内の小学校に併設されている学童保育施設「放課Go!クラブ」の青南教室の児童の展示見学受け入れを、今年度は毎展覧会で実施。毎回1~4年生20名ほどが来館、そのうちの2回は、青山教室、筭教室とも合同で、30名規模で実施。

(11) 有料広告

- ・特別展「燕子花図と夏秋溪流図」、特別展「鑿の華―光村コレクションの刀装具―」への誘客のため、朝日新聞朝刊、日本経済新聞夕刊、読売新聞夕刊にクーポン付き広告(100円割引券付)を掲出した。各展での掲出状況と利用者集計は以下の通り：

「燕子花図と夏秋溪流図」 計1,517名 (朝日・読売) (3%)

「鑿の華―光村コレクションの刀装具―」 計264名 (朝日・日経) (1%)

注：日経新聞、読売新聞への出稿は、朝日新聞に出稿することで得られる特典。

- ・本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター(チラシ配布用ポケット付)掲示を、すべての展覧会において2週間ずつ実施した。これを通じ、駅利用者に毎回300枚~400枚程度のチラシを配布することができた。

(12) 根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009年に開始した会員組織であり、平成24年7月より新たな制度に移行し、入会金3,000円、年会費8,000円で展覧会ごとの案内葉書と1名の招待券を送付し、会員証の提示で入館料無料、ミュージアムショップの1割引(一部商品を除く)の特典を提供している。平成29年度は会員が251名増加し、年度末の会員数は688名となった。

(13) NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」(会費無料)は、新創開館以来会員数が増え続け、平成29年度は会員が852名増加し、年度末現在の会員数は6,381名となった。当年度は12回メールマガジンを配信した。

(14) 青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、1会期5万5千円の会費で、年4回の茶会と4回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度である。平成29年度・第五期会員167名が在籍しており、下記の講座と茶会を開催した。また今期より、茶会の会に限り会員以外でも一名当たり2万円で参加ができる臨時券の販売を開始した。下記茶会には臨時券での参加者を含んでいる。

[平成29年]

第一回講座	4月22日(土)	参加者128名
	講師：高橋忠彦氏「中国唐宋時代の茶」	
第一回茶会	6月3日(土)	参加者175名
	席主：江戸千家 家元 川上宗雪氏	

第二回講座	7月15日(土)	参加者 128名
	講師：永樂善五郎氏「永樂家代々」	
第三回講座	9月2日(土)	参加者 138名
	講師：中山圭子氏「茶の湯の御菓子」	
第二回茶会	10月14日(土)	参加者 191名
	席主：正傳有楽 高屋宗之氏	
第三回茶会	12月9日(土)	参加者 184名
	席主：裏千家 植松宗慶氏	
[平成30年]		
第四回講座	2月3日(土)	参加者 104名
	講師：井川信齋氏「茶の湯と指物」	
第四回茶会	3月3日(土)	参加者 187名
	席主：茶道上田宗箇流 家元 上田宗岡氏	

(15) 美術品の館外貸出

以下の展覧会および茶会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

- ・特別展覧会「海北友松」展 京都国立博物館
4月11日(火)～2017年5月21日(日)

10644	山水図 海北友松筆	2幅
10698	鶴・白鷺・鍾離権図 海北友松筆 後陽成天皇等賛	3幅
10708	祖師問答図 海北友松筆 周岩瑞賢賛	1幅
- ・特別展「茶の湯」 東京国立博物館
4月11日(火)～2017年6月4日(日)

10361	重要文化財 竹雀図 伝牧谿筆	1幅
00046	重要文化財 一山一寧墨蹟 進道語	1幅
40091	重要文化財 肩衝茶入 松屋	1口
40218	重要文化財 青井戸茶碗 柴田	1口
40215	井戸茶碗 忘水	1口
40423	重要美術品 井戸香炉 此世	1口
40271	重要文化財 雨漏茶碗	1口
40140	重要文化財 鼠志野茶碗 山の端	1口
- ・金と銀の国 ジパングー輝きときらめきの美術ー 徳川美術館
4月15日(土)～5月28日(日)

20013	不動明王立像	1軀
40062	重要文化財 色絵山寺図茶壺 仁清作	1口
40175	重要美術品 色絵武蔵野図茶碗 仁清作	1口
- ・特別企画展 琳派の美と光琳茶会の軌跡 MOA美術館
4月28日(金)～6月6日(火)

10253	富士の図 日出藩主 木下俊長筆	1幅
50036	扇面業平蒔絵硯箱	1合
40562	交趾額梅香合	1合
00061	重要美術品 用章廷俊墨蹟	1幅
40346	重要文化財 青磁筍花入	1口

- | | | | |
|---|---------|-----------------|------|
| 30193 | 古芦屋梅竹文 | 太口釜 | 1口 |
| 40640 | 南蛮縄簾水指 | | 1口 |
| 40002 | 古瀬戸 | 大島大海茶入 | 1口 |
| 40183 | 御所丸茶碗 | | 1口 |
| 40160 | 信楽茶碗 | | 1口 |
| 60039 | 竹茶杓 | 共筒 銘 竹鶯 | 1本 |
| ・特別企画展 URUSHI ふしぎ物語 人と漆の12000年史 国立歴史民俗博物館 | | | |
| 7月11日(土)～2017年9月3日(日) | | | |
| 50111 | 重要文化財 | 宝相華銀平文袈裟箱 | 1口 |
| 50116 | 重要文化財 | 秋野蒔絵手箱 | 1口 |
| 50590 | | 堆朱牡丹文盆 | 1枚 |
| ・雪村 奇想の誕生 MIHO MUSEUM | | | |
| 8月1日(火)～9月3日(日) | | | |
| 10685 | 龍虎図屏風 | 雪村筆 | 六曲一双 |
| 30192 | 古天明十王口釜 | | 1口 |
| ・2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 戦国!井伊直虎から直政へ
静岡県立美術館 | | | |
| 8月14日(月)～10月12日(木) | | | |
| 10625 | 重要美術品 | 観瀑図 式部輝忠筆 景筠玄洪賛 | 1幅 |
| ・虫尽くし展 佐野美術館 | | | |
| 9月9日(土)～11月5日(日) | | | |
| 10395 | 重要文化財 | 瓜虫図 呂敬甫筆 | 1幅 |
| 10498 | | 劉海蟾図 趙麟筆 | 1幅 |
| ・天下を治めた絵師 狩野元信 サントリー美術館 | | | |
| 9月16日(土)～2017年11月5日(日) | | | |
| 10516 | 養蚕機織図屏風 | 伝 狩野元信筆 | 6曲1双 |
| 10311 | 四季花鳥図屏風 | 「元信」印 | 6曲1双 |
| 10211 | 林檎鼠図 | 「元信」印 | 1幅 |
| 10815 | 山水図 | 伝 戴進筆 | 1幅 |
| ・京都国立博物館開館120周年記念特別展覧会 国宝 京都国立博物館 | | | |
| 10月3日(火)～2017年11月26日(日) | | | |
| 10301 | 国宝 | 燕子花図屏風 尾形光琳筆 | 6曲1双 |
| 10394 | 国宝 | 鶉図 伝李安忠筆 | 1幅 |
| ・平成29年秋季特別展 仏教儀礼と茶 茶道資料館 | | | |
| 10月3日(火)～12月3日(日) | | | |
| 10010 | 重要美術品 | 羅漢図(2幅のうち) | 1幅 |
| ・特別企画展 光彩の巧み 瑠璃・玻璃・七宝 五島美術館 | | | |
| 10月21日(土)～12月3日(日) | | | |
| 90267 | | 玻璃象嵌四神十二支文鏡 | 1面 |
| ・美しき庭園画の世界—江戸絵画にみる現実の理想郷 静岡県立美術館 | | | |
| 10月21日(土)～12月10日(日) | | | |
| 10220 | | 藤原惺窩閑居図 狩野山雪筆 | 1幅 |
| ・典雅と奇想 明末清初の中国名画展 泉屋博古館分館 | | | |

11月3日(金)～12月10日(日)		
10718	柱石図 米万鍾筆	1幅
10722	飛泉喬松図 王建章筆	1幅
・特別企画展 染付：青繪の世界 愛知県立陶磁美術館		
11月3日(金)～2018年1月14日(日)		
40822	御深井写菊透文深鉢 野々村仁清作	1口
・特別展 鑿の華 光村コレクションの刀装具 大阪歴史博物館		
1月27日(土)～3月18日(月)		
80840	瓢箪図鐔 信家作 ほか	計150件271点
・特別展 王羲之と日本の書 九州国立博物館		
2月10日(土)～4月8日(日)		
00288	天地二大字(大天地)	1幅
00289	天地二大字(小天地)	1幅
00298	飲中八仙歌 池大雅筆	8曲1隻
・寛永の雅 江戸の宮廷文化と遠州・仁清・探幽 サントリー美術館		
2月14日(水)～4月8日(日)		
40061	耳付茶入 銘 大江	1口
40661	祥瑞蜜柑水指	1口
40186	紅葉呉器茶碗	1口

合計18か所、201件328点

(16) 画像の貸出

当年度は、189件の申請を受け、637点の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下の通りである。

燕子花図50件、那智瀧図9件、藤花図8件、夏秋溪流図8件、春日山蔭絵6件、漁村夕照図4件

(17) 施設の貸与

以下の講演会・茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

・講演会他(講堂)

[平成29年]	主となる団体など	用途
5月11日	濱村繭衣子(京都造形芸術大学)	講義
5月12日	東京銀座新ロータリー倶楽部	団体対応
6月4日	(株)便利堂	学会
7月2日	The Teaching East Asia Program at the University of Colorado	会議
9月14日	浦西勉(龍谷大学)	団体対応
9月28日	河口湖美術館主催「大人の遠足」ツアー	団体対応
／10月4日		
10月18日	森巖寺	団体対応
10月20日	萱場まゆみ(早稲田大学)	講義

11月18日	BCJA	会議
12月12日	港区教育委員会事務局	会議
[平成30年]		
3月1日	ポートランド日本庭園	会議
2月12日	濱村繭衣子(京都造形芸術大学)	講義

計13件

・茶会(茶室、講堂)

[平成29年]	主となる団体など	用途	人数
4月16日	青松園	茶会	347名
4月22日	芙蓉会	茶会	56名
4月23日	わかばの会	茶会	194名
4月29日	泡茶研究会	茶会	29名
4月30日	賣茶正流煎茶通仙会	茶会	115名
〃	乙巳の会	茶会	10名
5月11日	梅田稔	茶会	20名
5月27日	(公財)上田流和風堂	茶会	121名
〃	陶々舎	茶会	26名
5月28日	NPO 法人 SAMURAI MEETUPS	茶会	23名
6月18日	川上博之氏	茶会	22名
6月25日	東洋大学茶道研究会	茶会	79名
7月1日	茶道宗和流	茶会	111名
7月2日	白石トヨ	茶会	149名
10月15日	宗徧流関東地区	茶会	265名
11月3日	三田福茶会・慶應茶道会	茶会	317名
11月5日	あけび園	茶会	304名
11月12日	AFAR Experience	茶会	79名
11月26日	大日本茶道協会	茶会	289名
11月29日	なごみの会	茶会	89名
12月17日	山脇学園茶道部・OG会	茶会	96名
[平成30年]			
1月28日	(株)くるり	茶会	107名
3月26,27日	(公財)大師会	茶会	629名

計23件

3,477名

Ⅱ 収益事業

【事業の概要】

1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTT ドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

Ⅲ 庶務の概要

1. 役員

平成 30 年 3 月 31 日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員暦・同一業界 関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	なし
常務理事	非常勤	矢野 恵一	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 常務理事	なし	〃
理事	非常勤	安田 弘	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	安田不動産株式会社 顧問	なし	〃
〃	非常勤	島尾 新	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	学習院大学 教授	学校教育	〃
〃	非常勤	渡邊 喜雄	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	株式会社カインドウェア 代表取締役会長	なし	〃
〃	非常勤	板倉 聖哲	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	常勤	波多野 定治	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	なし	〃
〃	常勤	松原 茂	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	公益財団法人根津美術館 学芸部長	なし	〃
		8 名				
監事	非常勤	後藤 康雄	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	なし	なし
〃	非常勤	中瀬 雅通	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 25 年 5 月 29 日)	株式会社三陽商会 相談役	〃	〃
		2 名				

評議員	非常勤	小林 喬	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富国生命保険相互会社 相談役	保険業	なし
〃	非常勤	正田 修	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	㈱日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	なし	〃
〃	非常勤	根津 嘉澄	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	東武鉄道株式会社 取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	秋山 智史	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富国生命保険相互会社 取締役会長	保険業	〃
〃	非常勤	堀内 光一郎	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	安田 正	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	〃	〃
〃	非常勤	有馬 朗人	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	静岡文化芸術大学 理事長	東京大学総長 ・学校教育	平成 5 年 3 月 31 日
〃	非常勤	田村 妙子	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	なし
〃	非常勤	徳川 義崇	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	美術館	〃
〃	非常勤	根津 后方子	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	なし	〃
〃	非常勤	近藤 誠一	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 3 月 19 日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁長官	平成 25 年 7 月
〃	非常勤	河田 正也	平成 29 年 5 月 24 日 (平成 29 年 5 月 24 日)	日清紡ホールディングス 株式会社 代表取締役社長	なし	なし
		12名				

2. 職員

平成 30 年 3 月 31 日現在

職名	勤務	氏名	就職年月日	担当事務
館長	非常勤	根津 公一	平成 12 年 1 月 4 日	総括
学芸部長	常勤	松原 茂	平成 20 年 10 月 1 日	日本書画史・学芸部総括
学芸 第一課長 兼 第二課長	常勤	野口 剛	平成 20 年 10 月 1 日	近世絵画史・情報管理
学芸第一課	常勤	福島 洋子	平成 21 年 4 月 1 日	墨跡・学芸庶務・図書管理
学芸第二課	常勤	下村 奈穂子	平成 26 年 9 月 1 日	陶磁史・茶会関係
学芸部 特別学芸員	常勤	白原 由起子	平成 20 年 10 月 1 日	仏教美術史
学芸部広報課長	常勤	所 純子	平成 24 年 12 月 1 日	広報全般
学芸部広報課主任	常勤	村岡 香代子	平成 25 年 1 月 1 日	広報
学芸部広報課	常勤	荒川 麻美子	平成 21 年 4 月 1 日	画像管理・商品開発
管理部長	常勤	波多野 定治	平成 19 年 7 月 1 日	管理部 総括
管理部次長	常勤	鈴木 康生	平成 13 年 4 月 11 日	設備管理・顧客サービス
管理部次長	常勤	柳 瀬 茂	平成 30 年 1 月 4 日	部長補佐
管理部	常勤	田中 智子	平成 2 年 9 月 1 日	庶務・出納
管理部	常勤	松井 麻美	平成 21 年 4 月 1 日	商品管理
管理部	常勤	須田 瑛生	平成 26 年 3 月 1 日	総務・会計
管理部	常勤	高室 修	昭和 50 年 3 月 1 日	庭園管理
		職員 16 名	他に臨時職員 30 名	

顧問	非常勤	矢野 恵一	平成 24 年 12 月 1 日	全般
顧問	常勤	西田 宏子	昭和 56 年 4 月 1 日	学芸部
顧問	非常勤	宇田川 真紀雄	平成 12 年 4 月 1 日	管理部
		顧問 3 名		

3. 役員会

(1) 理事会

開催日 平成29年5月10日(水) 13時00分～14時00分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第1号議案 平成28年度事業報告の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 平成28年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 諸規定改定の件

事務局より、会計処理規則改定案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

③ 美術品棚卸の件

松原学芸部長より、五カ年計画で実施している美術品棚卸の二年目の進捗状況について報告があった。

④ 次回理事会日程の件

根津理事長より、次回の理事会は平成29年8月2日(水)10時を予定している旨、報告があった。

議員会は平成30年3月22日(木)13時を予定している旨、報告があった。

開催日 平成29年8月2日(水) 10時00分～10時30分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第1号議案 美術品寄贈受入の件

事務局より、佐藤泰一郎氏よりの更紗手鑑の寄付申込があった旨、内容説明があった。寄付者との関係、美術品の価値、特に珍しい裂が入っているか、等の質疑応答を経て審議の結果、美術品寄贈を受け入れることを出席理事全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 平成30年度展示スケジュールの件

松原学芸部長より、平成30年度展示スケジュールについて説明があった。根津理事長より、平成30年7月・8月に予定している大規模修繕について説明があった。質疑応答を経

て審議の結果、平成30年度展示スケジュール、及び、大規模修繕計画について出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

開催日 平成30年3月7日（水） 13時00分～13時30分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第1号議案 平成30年度事業計画の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 平成30年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。中瀬監事より、何故池の水質改善工事が展覧会事業費に入っているのか質問があり、事務局より展示施設の一部として庭園を維持管理している旨説明があった。根津理事長より池の水質改善工事の内容について説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 アルバイト職員就業規則制定の件

事務局より、同案についての内容説明があった。中瀬監事より、アルバイトという言葉が規則になじまないのではないか、との発言があった。審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

③ 平成31年度以降の展示検討会実施の件

事務局より、本日、平成31年度以降の展示検討会を実施する旨報告があった。

④ 次回理事会日程の件

根津理事長より、次回の評議員会は平成30年5月7日（月）を予定している旨、報告があった。

(2) 評議員会

開催日 平成 29 年 5 月 24 日 (水) 13 時 00 分～14 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告の件

館長より、同案についての内容説明があった。近藤評議員より、美術品修理の長期計画について質問があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

② 第 2 号議案 平成 28 年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

③ 第 3 号議案 諸規定改定の件

事務局より、会計処理規則改定案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

④ 第 4 号議案 評議員 1 名選任の件

館長より、望月朗宏評議員より辞任届の提出が合った旨説明があり、評議員 1 名の選任について諮ったところ、新たに河田正也氏に就任を求めることを出席評議員全員一致で承認可決した。

報告事項

① 美術品棚卸の件

松原学芸部長より、五カ年計画で実施している美術品棚卸の二年目の進捗状況について報告があった。

② 中期計画の件

館長より、2019年の根津嘉一郎80回忌茶会、及び、建物の整備計画について報告があった。

③ 次回評議員会日程の件

議長より、次回の評議員会は平成30年3月22日(木)13時を予定している旨、報告があった。

開催日 平成 30 年 3 月 22 日 (木) 13 時 00 分～13 時 30 分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

① 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画の件

館長より、同案についての内容説明があった。徳川評議員より、美術館の大規模修繕の内容についての質問があり、根津館長より説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 平成30年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。近藤評議員より、配当金収入、及び、補助金収入の増加要因について質問があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 アルバイト職員就業規則制定の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 平成31年度以降の展示検討会の件

松原学芸部長より、3月7日に実施した平成31年度以降の展示検討会について報告があった。

② 事務処理規則第8条別表改定の件

事務局より、事務処理規則第8条別表改定について報告があった。

③ 次回評議員会日程の件

議長より、次回の評議員会は平成30年5月28日（月）を予定している旨、報告があった。

IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。